

防災地域建設委員会資料

一般事件案

1 令和4年度島根県一般会計補正予算（第12号）[関係分]	ページ 1
-------------------------------	----------

予算案

1 令和5年度島根県一般会計補正予算（第1号）[関係分]	2
------------------------------	---

報告事項

1 令和4年度Uターン・Iターン者の状況について	6
2 令和5年度の主なUターン・Iターン施策について	26
3 令和5年度移住者意識調査について	29

【承認第1号議案】

令和4年度島根県一般会計補正予算（第12号） [関係分]
 （令和5年3月31日専決処分）
 [地 域 振 興 部]

（単位：千円）

課名 ・ 事業名	補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	内容など
地域政策課	1,012,228		1,012,228	
しまね暮らし推進課	1,350,825	▲ 31,245	1,319,580	
わくわく島根生活実現支援 事業費	64,546	▲ 31,245	33,301	移住支援金交付事業等の執行実績による減額 [財源] 国 ▲20,822 県▲10,423
中山間地域・離島振興課	302,520		302,520	
市町村課	1,435,030		1,435,030	
交通対策課	2,753,498		2,753,498	
地域振興部 合計	6,854,101	▲ 31,245	6,822,856	[財源] 国 ▲20,822 県 ▲10,423

【第73号議案】

令和5年度島根県一般会計補正予算（第1号） [関係分]
 （令和5年度6月補正予算）
 [地域振興部]

【歳出】

(単位:千円)

課名・事業名	補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	内容など
地域政策課	487,088		487,088	
しまね暮らし推進課	1,216,793	64,700	1,281,493	
県立しまね海洋館管理運営事業費	388,987	64,700	453,687	エネルギー価格・物価高騰対策事業 [財源] 県 64,700
中山間地域・離島振興課	369,622		369,622	
市町村課	1,170,974		1,170,974	
交通対策課	2,488,159	69,689	2,557,848	
出雲縁結び空港路線維持事業費	19,242	4,000	23,242	出雲縁結び空港利用促進事業 [財源] 県 4,000
萩・石見空港路線維持事業費	183,872	6,200	190,072	萩・石見空港路線維持拡大特別対策事業 [財源] 県 6,200
隠岐世界ジオパーク空港路線維持事業費	8,268	2,000	10,268	隠岐世界ジオパーク空港利用促進事業 [財源] 県 2,000
公共交通事業者に対する燃料費高騰緊急支援事業費		57,489	57,489	公共交通事業者に対する燃料費高騰緊急支援事業 [財源] 県 57,489
地域振興部 合計	5,732,636	134,389	5,867,025	[財源] 県 134,389

エネルギー価格・物価高騰対策事業 (県立しまね海洋館管理運営事業費)

【しまね暮らし推進課】

1. 事業概要

光熱費の上昇により、県立しまね海洋館の管理運営費が逼迫し、施設運営及び展示等に影響が生じる懸念があるため、令和5年度の指定管理料を増額する

2. 補正予算額

64,700千円(現計予算額 284,960千円)

令和3年度と令和4年度の電気代実績額を比較し、その差額を令和5年度電気代増加分(概算額)とする。

区分	R3 実績	R4 実績	R4-R3 差引
電気代	125,796千円	190,496千円	64,700千円

(参考)

第4期指定管理期間(令和5年度～令和12年度)

指定管理料の総額 2,279,680千円

- ・令和5年度の指定管理料 284,960千円
- ・光熱水費上昇に伴う増額分 64,700千円(令和5年度)

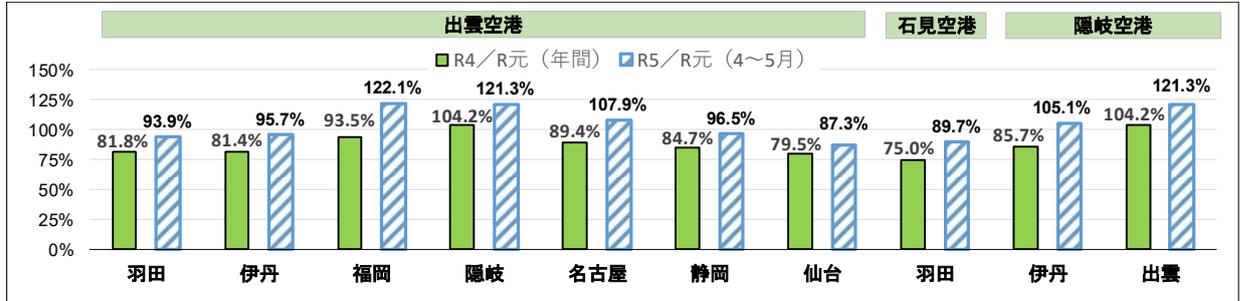
県内空港の利用促進事業

【交通対策課】

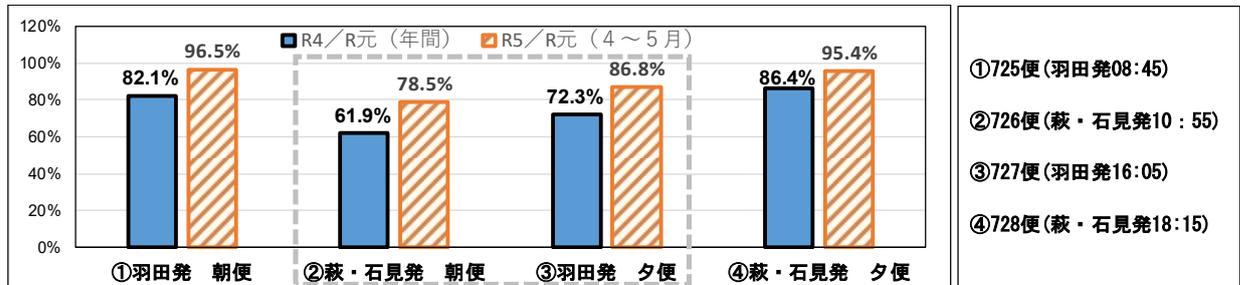
1. 事業概要

コロナ禍からの需要回復が遅れている航空路線について、県内からの利用を促進するため、県内3空港における利用促進協議会の取組を支援

【各空港の利用状況】 R4年度/R元年度（年間）、R5年度/R元年度（4～5月）



【萩・石見空港の利用状況】 R4年度/R元年度（年間）、R5年度/R元年度（4～5月）



2. 事業内容

(1) 出雲縁結び空港

- ① 支援先：21世紀出雲空港整備利用促進協議会（事務局：出雲市）
- ② 内容：個人の空港利用に対して片道5千円を助成する事業費を拡充、路線就航先をPRする事業費を新たに措置
- ③ 助成率：1/2
- ④ 補正額：4,000千円（現計予算額 19,242千円）

(2) 萩・石見空港

- ① 支援先：萩・石見空港利用拡大促進協議会（事務局：益田市）
- ② 内容：県内からの東京（羽田）線利用を促進するため、各種メディアを活用したPRに係る事業費を拡充
- ③ 助成率：1/2
- ④ 補正額：6,200千円（現計予算額183,872千円）

(3) 隠岐世界ジオパーク空港

- ① 支援先：隠岐空港利用促進協議会（事務局：隠岐の島町）
- ② 内容：島民の大阪（伊丹）線利用に対して片道5千円を助成する事業費を拡充
- ③ 助成率：1/2
- ④ 補正額：2,000千円（現計予算額 8,268千円）

3. 補正予算額 12,200千円

公共交通事業者に対する燃料費高騰緊急支援事業

【交通対策課】

1. 事業概要

エネルギー価格高騰の影響を受ける中、県民生活を支えるため事業を継続している県内の公共交通事業者に対し、燃料費の一部を支援

2. 事業内容

(1) 助成対象経費

上昇単価 (R5. 4～9 月燃料単価－R3. 4～9 月平均燃料単価) × 使用量

(2) 対象期間

令和5年4月～9月

(3) 事業費

(単位：千円)

対象事業	補助率	支援額の積算	支援額	県予算額	
高速バス ・ 空港連絡バス	1/2	(上昇単価 × 使用量) × 補助率	2,069	2,069	
路線バス	幹線		1/2	1,637	1,637
	準幹線		1/2	490	490
	生活交通		1/3	2,748	2,748
隠岐汽船	1/2 (県2/3、隠岐4町村1/3)	(上昇単価 × 使用量 － 運賃改定影響額※1) × 補助率	47,941	31,961	
一畑電車	1/2 (県50%、松江市17.5%、 出雲市32.5%)	(上昇単価 × 使用量) × 補助率	19,613	9,807	
タクシー	1/2 (県1/2、市町村1/2)	(上昇単価 × 使用量 － 国補助額※2) × 補助率	17,554	8,777	
合計			92,052	57,489	

※1 隠岐汽船は、R4. 1. 1より燃料費高騰に伴い運賃を改定しているため、補助対象経費から影響見込額を控除

※2 LPガス車は、補助対象経費から国の「タクシー事業に対する燃料価格激変緩和対策事業」補助額を控除

3. 補正予算額

57,489千円

令和4年度Uターン・Iターン者の状況について

1. 概要

Uターン・Iターン者は、「県外から島根県に転入し、転入市町村に5年以上居住する意思のある者」と定義し、平成27年度から独自に調査を実施

(1) R4年度Uターン・Iターン者数（詳細は別紙参照）

① 日本人・外国人計

単位：人

	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R4	2,010	1,403	50	3,463
R3	2,001	1,316	45	3,362
対前年度	9	87	5	101
対前年度比	100%	107%	111%	103%

- 令和4年度は、総数では3,463人で対前年度101人の増となった。
- Uターン者数は、2,010人で対前年度9人の増、
Iターン者数は、1,403人で対前年度87人の増となった。

② 日本人のみ

単位：人

	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R4	1,946	1,220	43	3,209
R3	1,960	1,170	40	3,170
対前年度	▲ 14	50	3	39
対前年度比	99%	104%	108%	101%

- 令和4年度は、総数では3,209人で対前年度39人の増となった。
- Uターン者数は、1,946人で対前年度14人の減、
Iターン者数は、1,220人で対前年度50人の増となった。

(外国人の状況は5.に記載)

(2) 年度別Uターン・Iターン者数の推移（H27年度～R4年度）



- Uターン者数は全体の約6割、Iターン者数は約4割という構成に大きな変化はない。
- Uターン者はH27年度の調査開始以降で初めての対前年増（+9人）で、Iターン者数は概ね横ばいの状況。

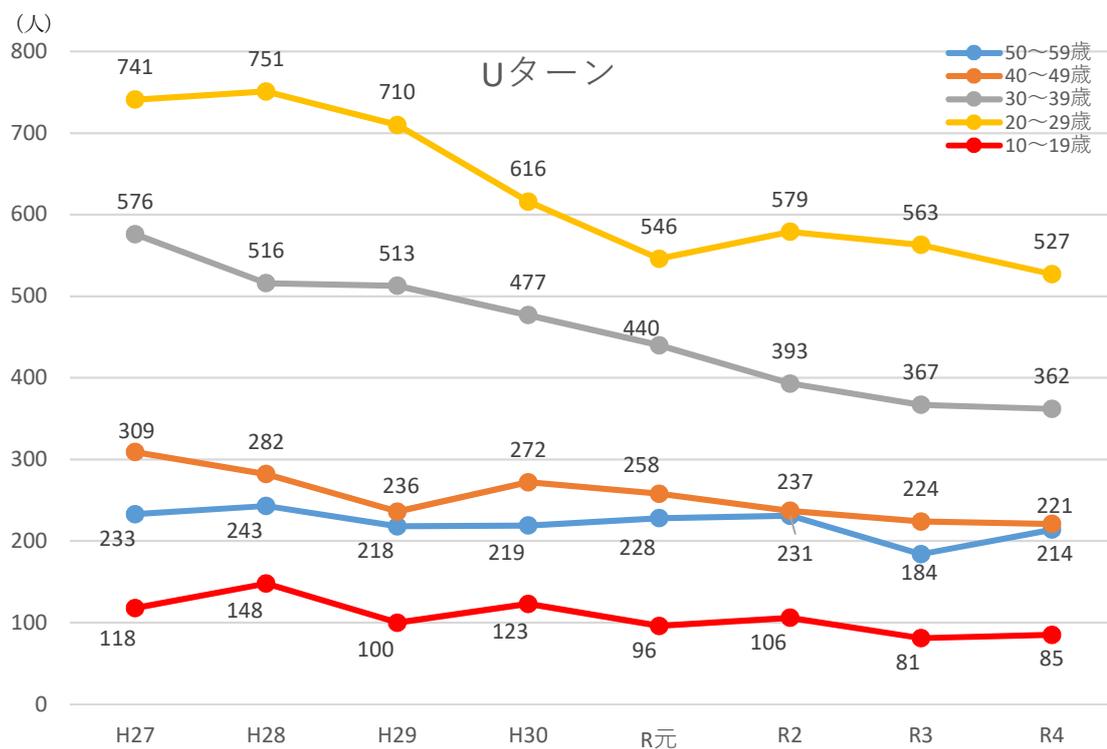
2. 年代別Uターン・Iターン者の状況

(1) R4年度とR3年度の比較

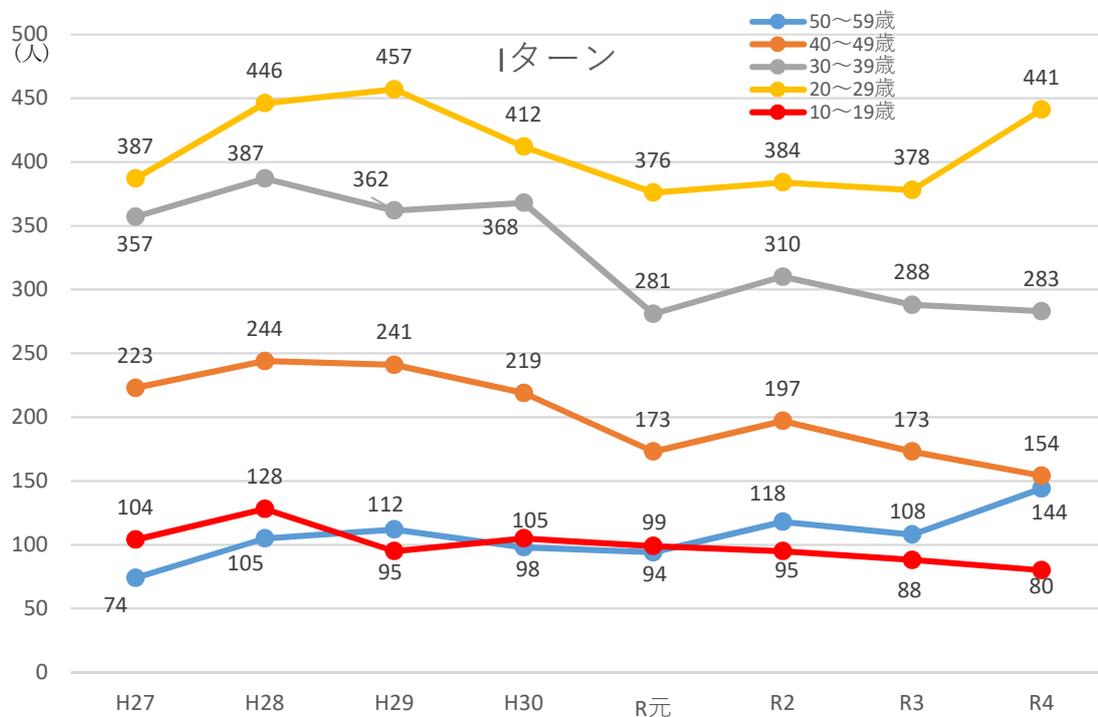
	Uターン者				Iターン者				計			
	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比
70歳以上	143	130	13	110%	99	87	12	114%	248	219	29	113%
60～69歳	232	232	0	100%	71	85	▲ 14	84%	303	320	▲ 17	95%
50～59歳	214	184	30	116%	144	108	36	133%	361	298	63	121%
40～49歳	221	224	▲ 3	99%	154	173	▲ 19	89%	382	400	▲ 18	96%
30～39歳	362	367	▲ 5	99%	283	288	▲ 5	98%	655	664	▲ 9	99%
20～29歳	527	563	▲ 36	94%	441	378	63	117%	976	954	22	102%
10～19歳	85	81	4	105%	80	88	▲ 8	91%	172	173	▲ 1	99%
10歳未満	226	220	6	103%	131	109	22	120%	366	334	32	110%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	3,463	3,362	101	103%

- 20歳～30歳代が全体の約半数（R3：48.1%、R4：47.1%）を占める構造に変化はない。
- 50歳代のUターン・Iターン者数が63人増加し、増加数全体の6割強を占めた。
- 20歳代のUターン者数が36人減少した一方で、Iターン者数は63人増加した。

(2) 年代別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R4年度)

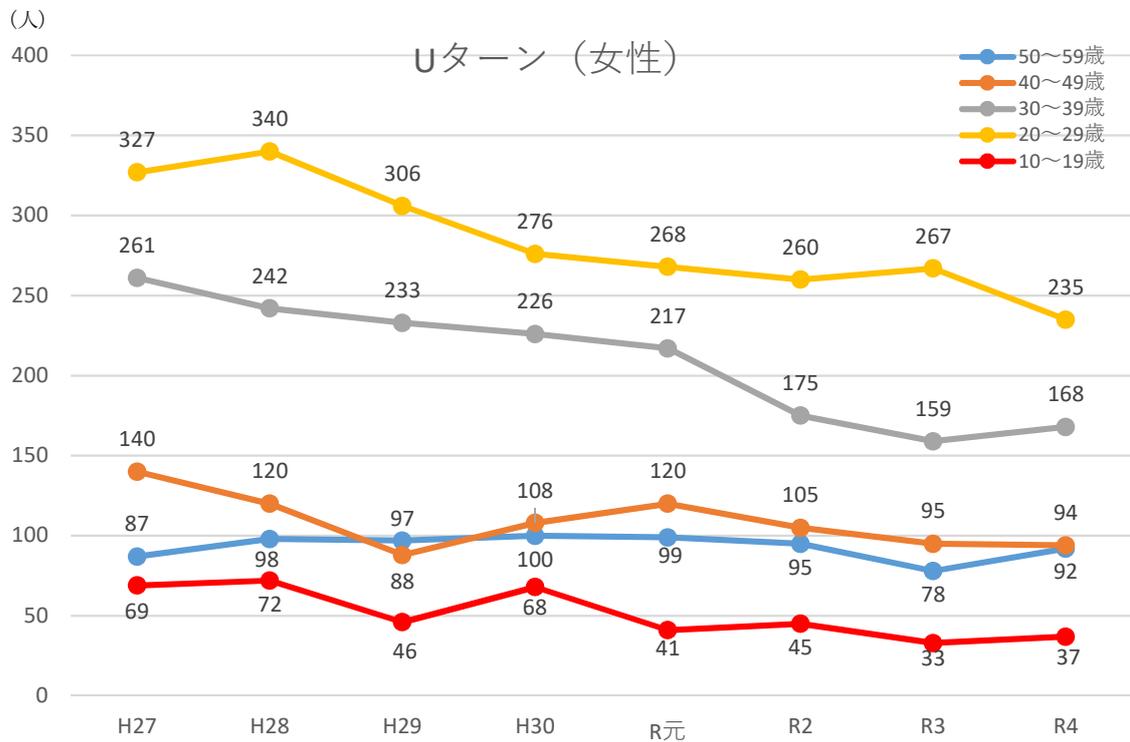
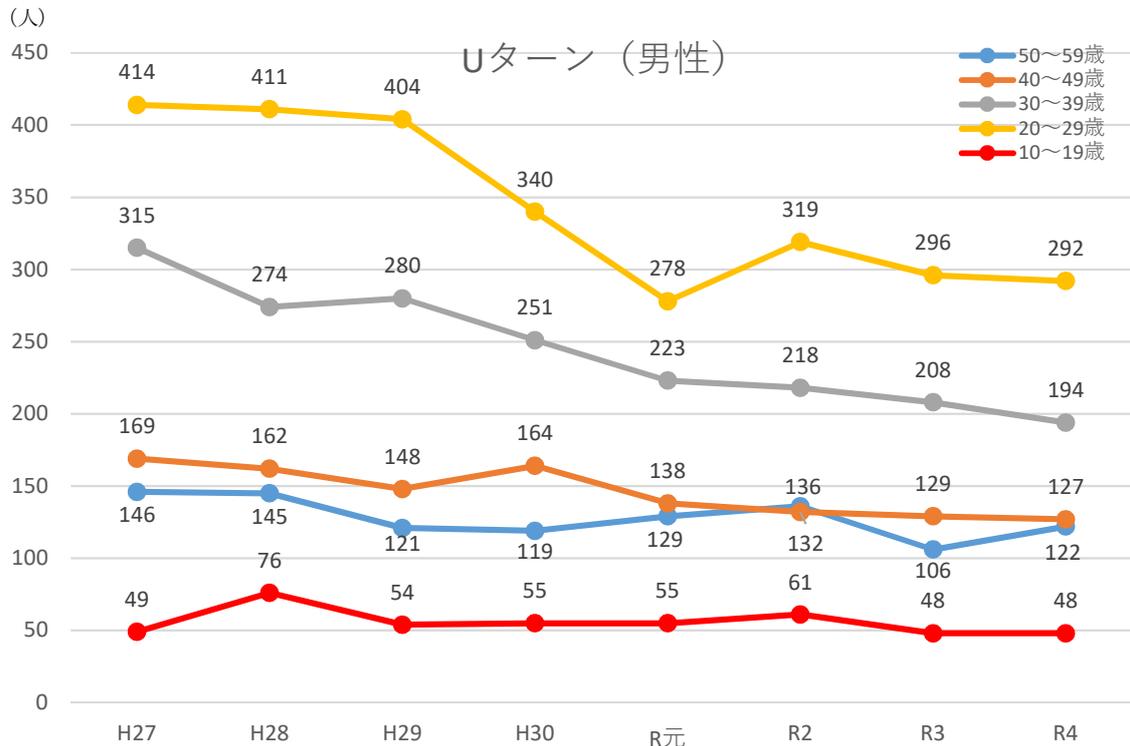


○ H27年度からの8年間で、Uターン者数はいずれの年代でも減少傾向にあり、特に20代(▲29%)、30代(▲37%)の減少幅が大きい。

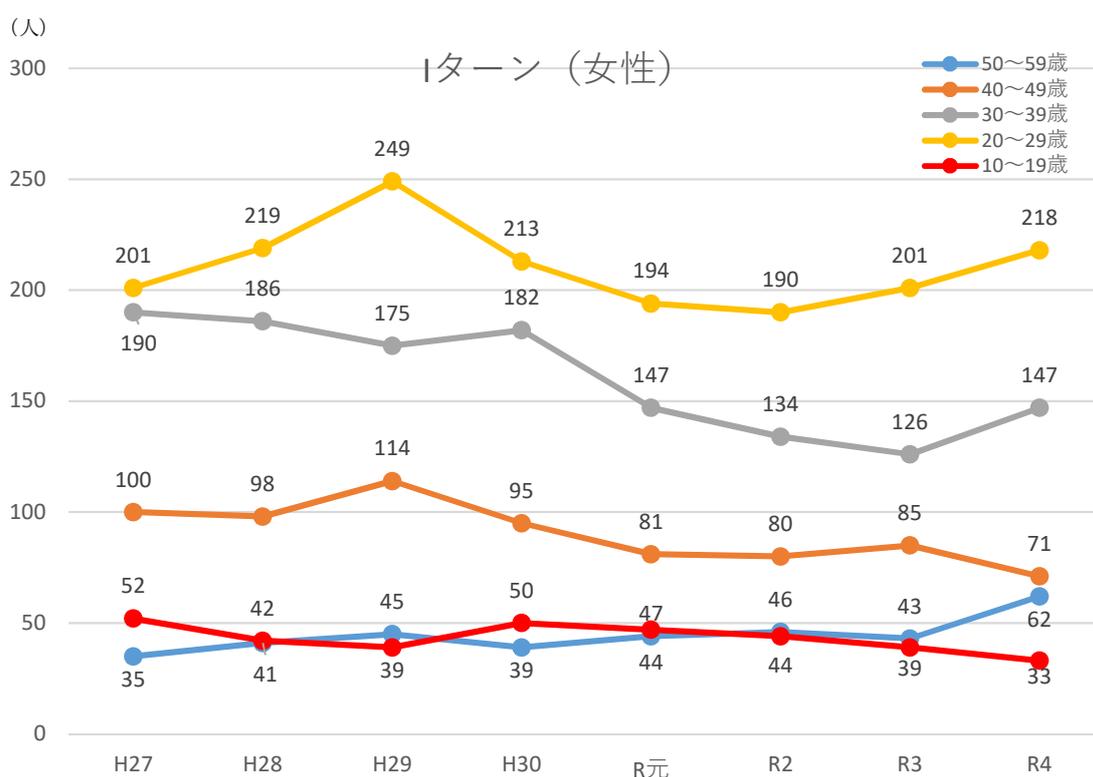
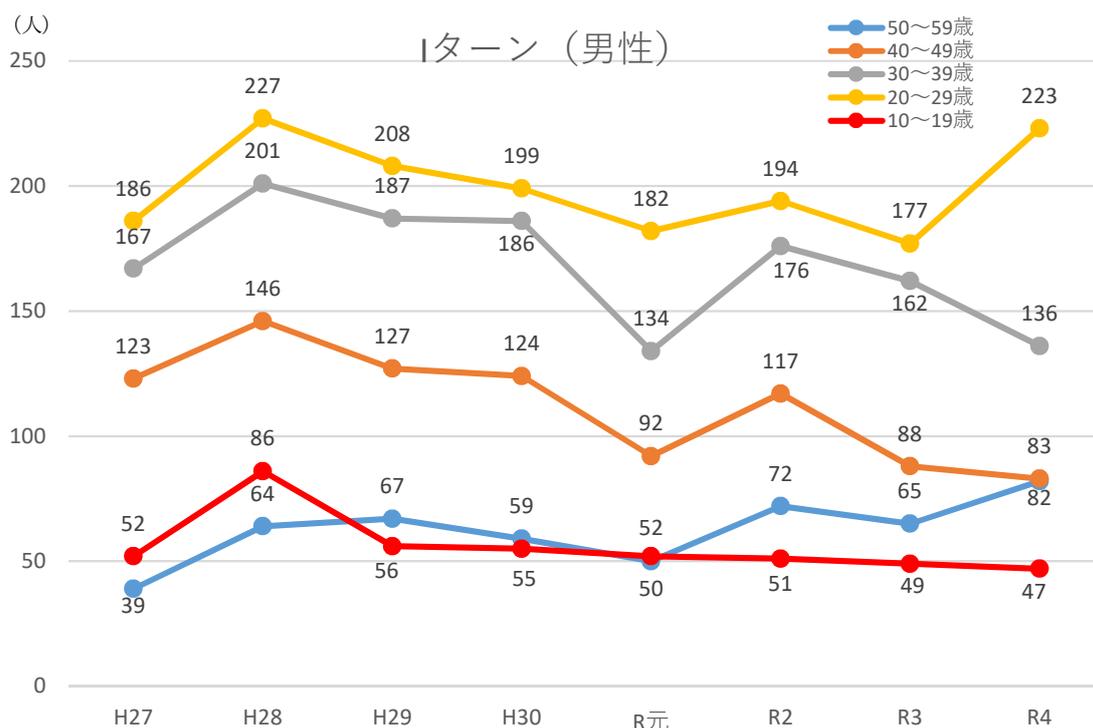


○ H27年度からの8年間で、Iターン者数もほとんどの年代が減少傾向であるが、50代(+95%)は増加傾向にある。また、20代のIターン者数は、H29年度以降減少傾向であったが、R4年度で441人(+14%)と増加に転じている。

(3) 年代別×性別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R4年度)



- 男女ともにH27年度からの8年間で、20代の減少率は約30%、30代は約40%と大きな違いはないが、50代男性は▲16%に対し、50代女性は+6%となっている。
- H27年度と比較して、減少数が最も多いのは20代男性 (▲122人) で、減少率が最も高いのは10代女性 (▲46%) となっている。



- 男女ともにH27年度からの8年間で、20代及び50代は増加、30代及び40代は減少という傾向に大きな違いはない。
- H27年度と比較して、減少数が最も多いのは30代女性(▲43人)で、減少率が最も高いのは10代女性(▲37%)となっている。また、増加数・増加率は50代男性がともに最も高い。(＋43人、＋110%)

3. 地域別Uターン・Iターン者数

(1) R4年度とR3年度の比較

単位：人

	Uターン者				Iターン者				計			
	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比
北海道	13	12	1	108%	18	10	8	180%	31	22	9	141%
東北	21	19	2	111%	18	23	▲ 5	78%	41	42	▲ 1	98%
北関東	22	16	6	138%	17	27	▲ 10	63%	39	43	▲ 4	91%
南関東	367	408	▲ 41	90%	222	218	4	102%	595	628	▲ 33	95%
北陸・東山	29	43	▲ 14	67%	35	52	▲ 17	67%	65	95	▲ 30	68%
東海	90	90	0	100%	66	80	▲ 14	83%	156	171	▲ 15	91%
東近畿	26	37	▲ 11	70%	26	38	▲ 12	68%	58	76	▲ 18	76%
西近畿	376	386	▲ 10	97%	237	219	18	108%	618	615	3	100%
中国	841	774	67	109%	499	477	22	105%	1,358	1,277	81	106%
四国	43	54	▲ 11	80%	46	39	7	118%	89	94	▲ 5	95%
九州・沖縄	107	91	16	118%	102	97	5	105%	213	189	24	113%
国外	75	71	4	106%	117	36	81	325%	200	110	90	182%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	3,463	3,362	101	103%

注) Uターン者、Iターン者とは別に「不明者」がいるため、合計の合わない場合がある。

地域区分：北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸・東山：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

東近畿：滋賀県、奈良県、和歌山県

西近畿：京都府、大阪府、兵庫県

中国：鳥取県、(※島根県は除く)、岡山県、広島県、山口県

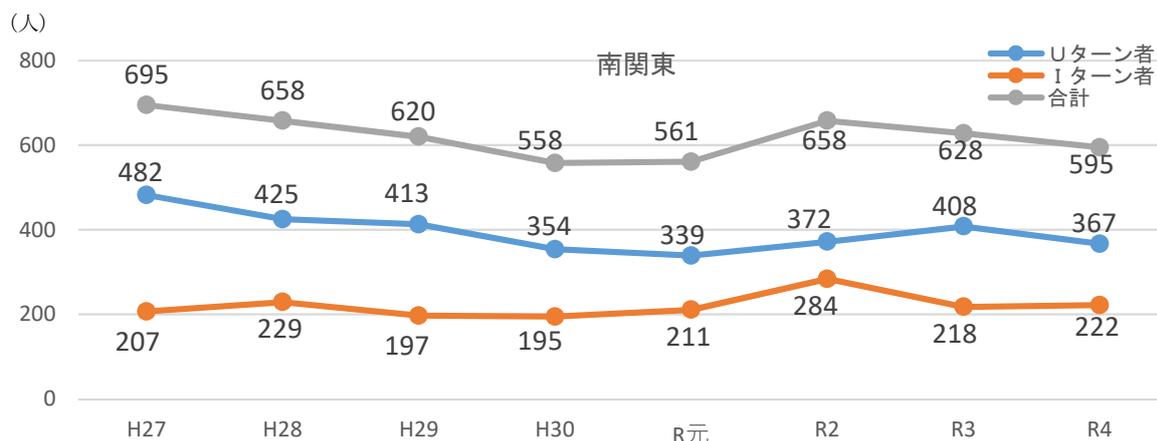
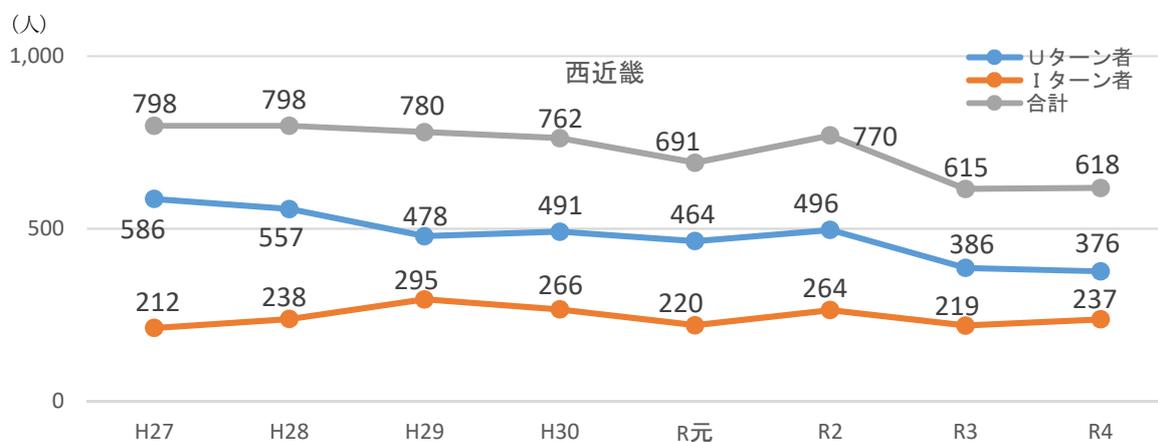
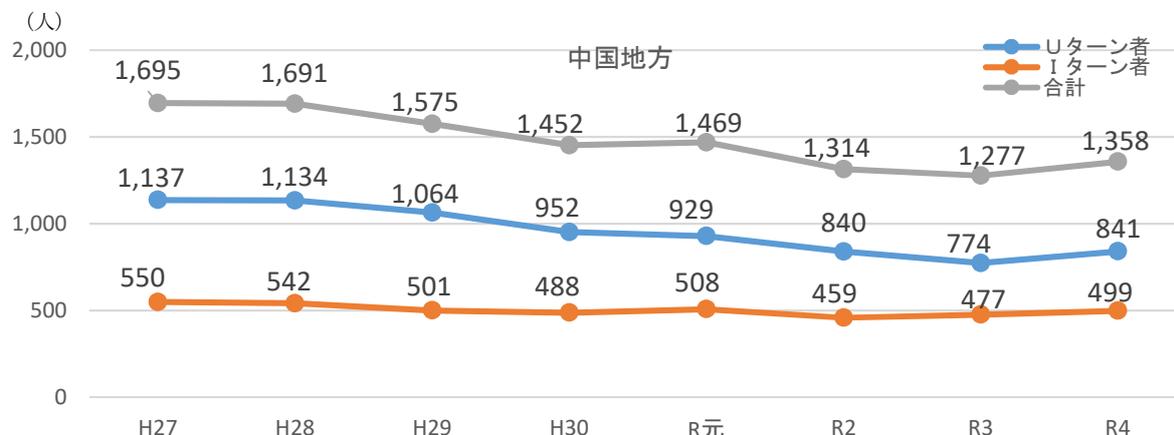
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※下線は各地域内でUターン・Iターン者数が最も多かった都道府県

- Uターン・Iターン者数全体は、中国、西近畿、南関東の3地域で3/4を占めている。
- R4年度の増加数+101人は、国外(+90人)、中国地方(+81人)等の増を、南関東(▲33人)、北陸・東山(▲30人)等の減により減らしたものの。
- R4年度のUターン者数は、中国(+67人)の増と、南関東(▲41人)の減が目立った。

(2) 地域別Uターン・Iターン者数の推移（上位3地域）（H27年度～R4年度）



- 中国地方のUターン・Iターン者数は減少傾向が続いていたが、R4年度は前年度比+81人と増加した。
- 南関東のUターン者数はH27年度以降で▲115人（▲24%）で、R2、R3年度で増加していたが、R4年度は前年度比▲41人と減少した。
- Iターン者数はH27年度以降で、西近畿が+25人（+12%）、南関東が+15人（+7%）とほぼ横ばいの状況。

4. 市町村別Uターン・Iターン者数

(1) R4年度とR3年度の比較

単位：人

	Uターン者				Iターン者				計				Uターン・Iターン者数 /推計人口 (R5.4.1時点)
	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	R4	R3	対前年度	対前年度比	
松江市	715	698	17	102%	472	373	99	127%	1,187	1,072	115	111%	0.60%
浜田市	135	109	26	124%	52	74	▲22	70%	192	183	9	105%	0.37%
出雲市	542	529	13	102%	413	466	▲53	89%	982	1,025	▲43	96%	0.57%
益田市	116	107	9	108%	92	54	38	170%	217	165	52	132%	0.50%
大田市	59	68	▲9	87%	62	51	11	122%	121	119	2	102%	0.38%
安来市	96	116	▲20	83%	59	54	5	109%	156	172	▲16	91%	0.44%
江津市	65	65	0	100%	46	22	24	209%	115	87	28	132%	0.53%
雲南市	72	80	▲8	90%	26	50	▲24	52%	98	135	▲37	73%	0.29%
奥出雲町	29	30	▲1	97%	11	10	1	110%	40	41	▲1	98%	0.36%
飯南町	10	12	▲2	83%	20	9	11	222%	30	21	9	143%	0.69%
川本町	1	8	▲7	13%	3	7	▲4	43%	5	15	▲10	33%	0.16%
美郷町	13	11	2	118%	8	9	▲1	89%	21	20	1	105%	0.52%
邑南町	47	47	0	100%	25	18	7	139%	74	65	9	114%	0.77%
津和野町	27	34	▲7	79%	20	18	2	111%	47	53	▲6	89%	0.73%
吉賀町	10	17	▲7	59%	11	27	▲16	41%	21	45	▲24	47%	0.37%
海士町	14	7	7	200%	15	24	▲9	63%	29	31	▲2	94%	1.29%
西ノ島町	10	6	4	167%	23	6	17	383%	33	12	21	275%	1.26%
知夫村	2	2	0	100%	0	0	0	0%	2	2	0	100%	0.34%
隠岐の島町	47	55	▲8	85%	45	44	1	102%	93	99	▲6	94%	0.72%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	3,463	3,362	101	103%	0.53%

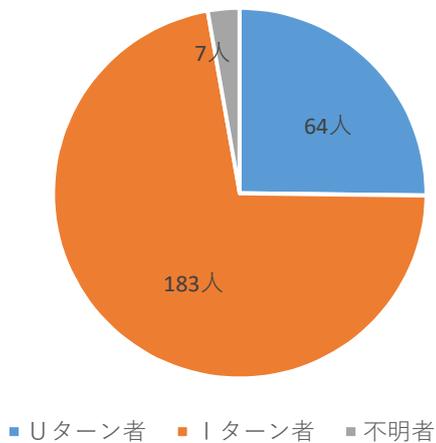
注) Uターン者、Iターン者とは別に「不明者」がいるため、合計の合わない場合がある。

- Uターン者は7市町で増加した。Uターン者数の増加が大きいのは、浜田市(+26人)、松江市(+17人)、出雲市(+13人)。一方で、9市町で減少し、減少が大きいのは、安来市(▲20人)だった。
- Iターン者は11市町で増加した。Iターン者数の増加が大きいのは、松江市(+99人)、益田市(+38人)、江津市(+24人)。一方で、7市町で減少し、減少が大きいのは、出雲市(▲53人)、雲南市(▲24人)、浜田市(▲22人)だった。
- Uターン者数の割合が高いのは13市町村で、雲南市(72/98=73%)、浜田市(135/192=70%)など。(知夫村はUターン者数2人に対し、Iターン者数なし。)
- Iターン者数の割合が高いのは6市町で、上位は西ノ島町(23/33=70%)、飯南町(20/30=67%)など。

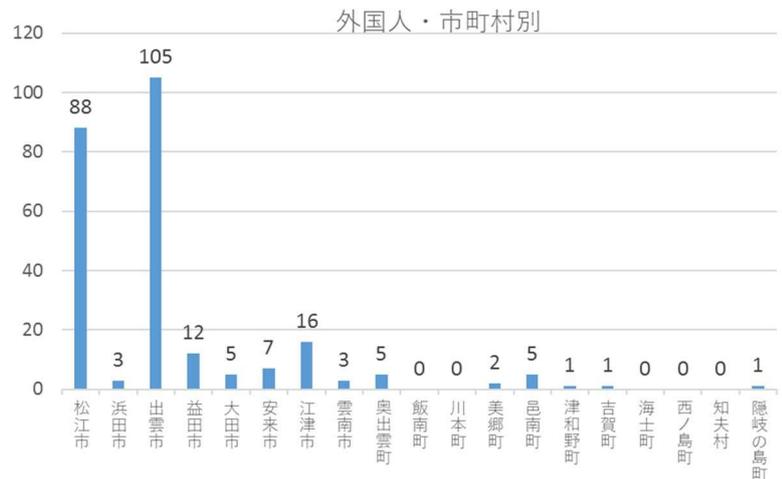
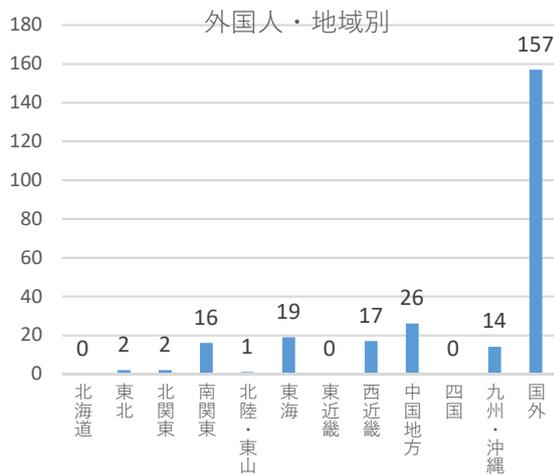
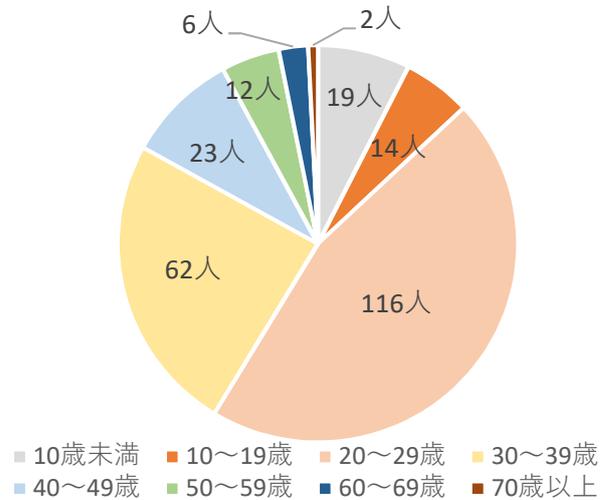
5. 外国人Uターン・Iターン者数

外国人		単位：人		
	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R4	64	183	7	254
R3	41	146	5	192
対前年度	23	37	2	62
対前年度比	156%	125%	140%	132%

Uターン・Iターン者の内訳

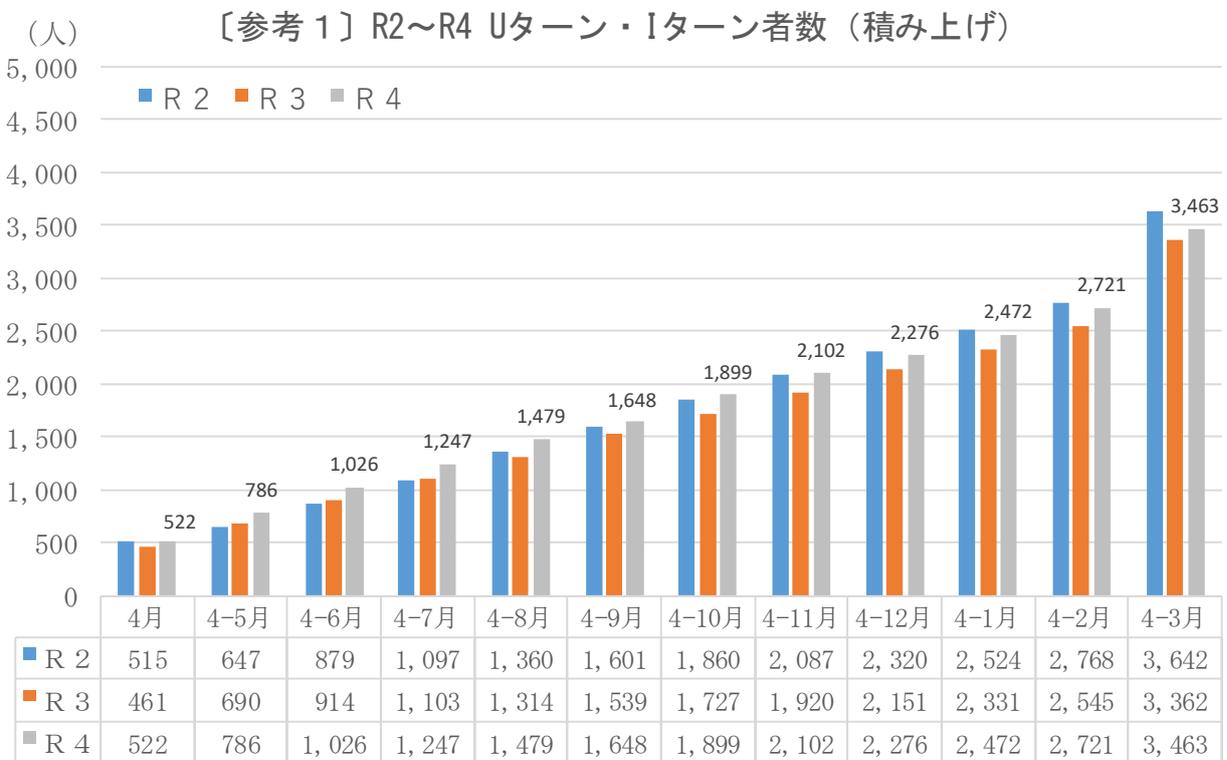
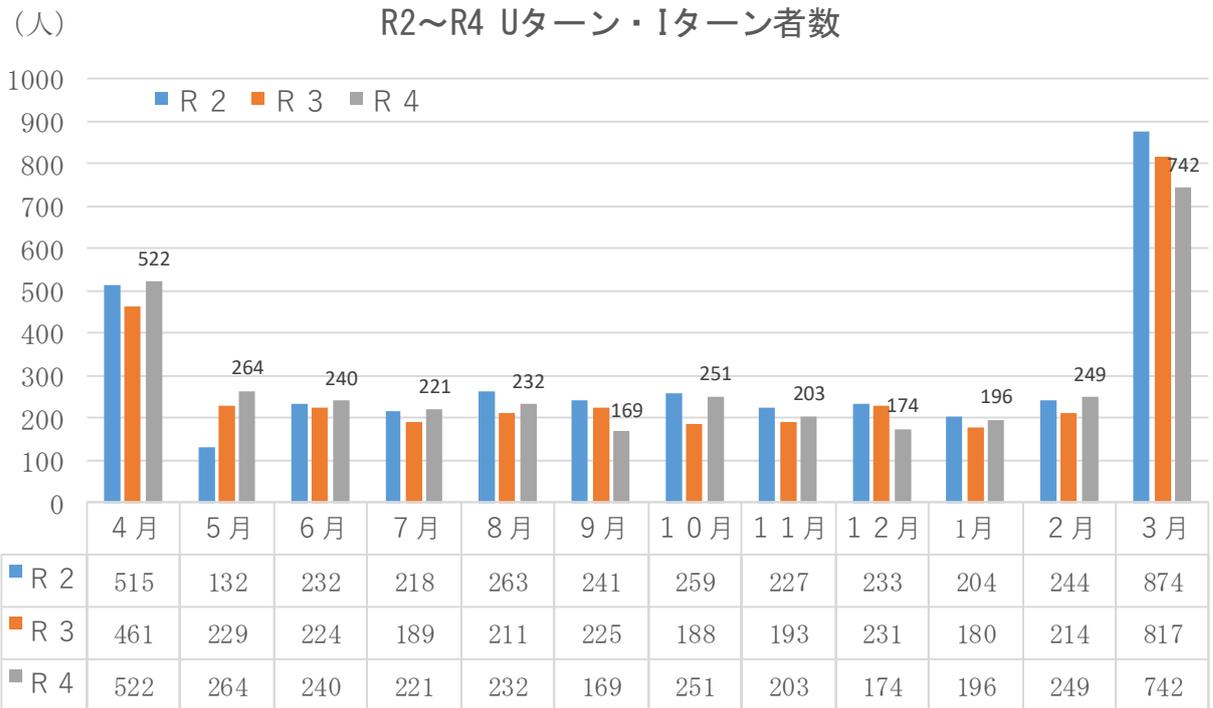


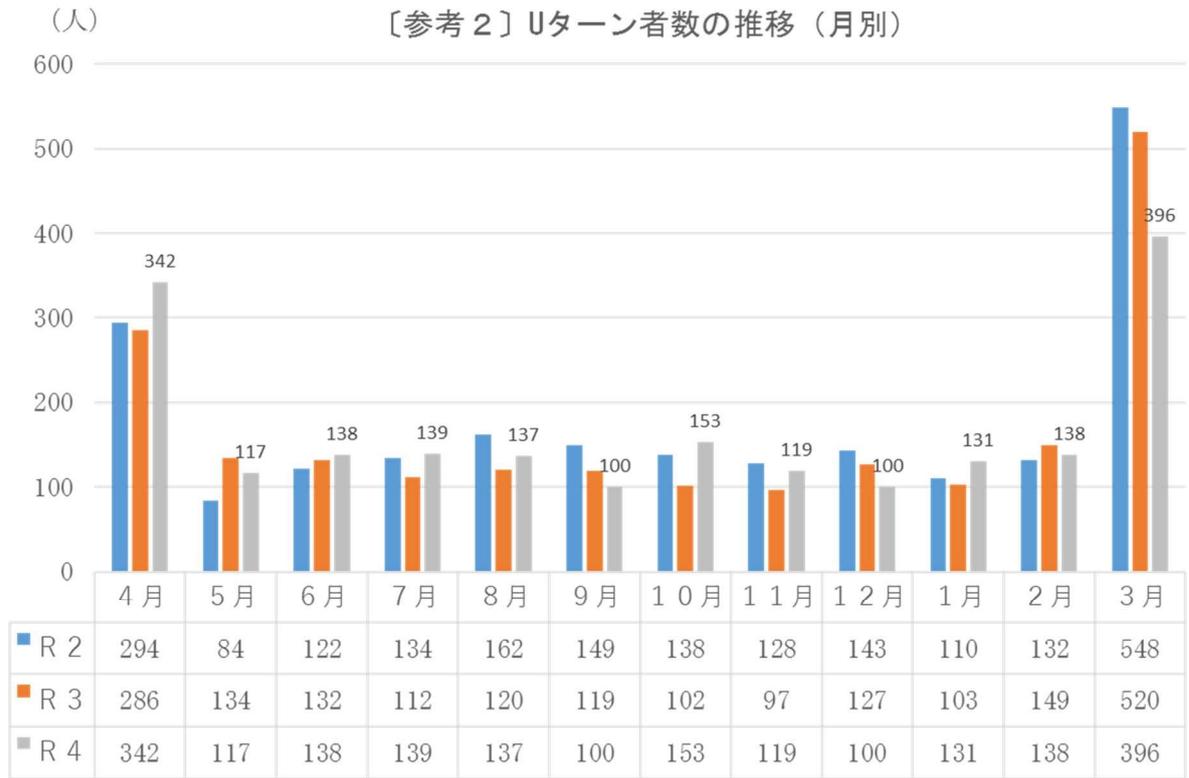
年代別Uターン・Iターン者



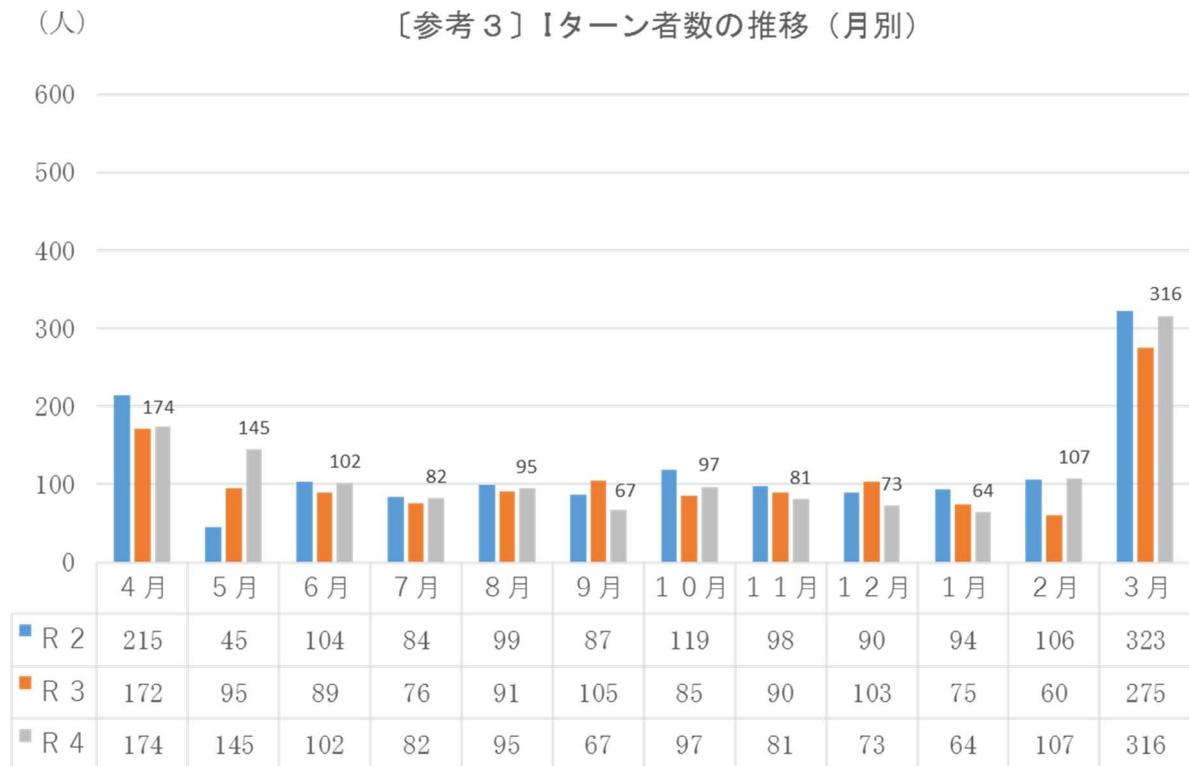
- 外国人のUターン・Iターン者数は254人で、Iターン者が72%を占める。
- 年代別では、20歳代が116人と最も多い。
- 地域別では、国外（157人）、中国地方（26人）が多い。
- 市町村別では、出雲市（105人）、松江市（88人）が多い。

6. Uターン・Iターン者数月別実績





4月～3月 R2：2,144人
R3：2,001人 (前年度比▲143人)
R4：2,010人 (前年度比+9人)



4月～3月 R2：1,464人
R3：1,316人 (前年度比▲148人)
R4：1,403人 (前年度比+ 87人)

(別紙)

令和4年度(4月～3月) Uターン・Iターン者数

令和4年4月～令和5年3月までのUターン・Iターン者数の実績は以下のとおり。

※平成27年度よりUターン・Iターン者は「県外から島根県に転入し、転入市町村に5年以上居住する意思のある者」と定義

※この集計は島根県人口移動調査の結果をもとにしまね暮らし推進課が独自集計

1. 男女別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

	Uターン者				Iターン者				不明者				計			
	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	対前年比
男	1,095	1,092	3	100%	707	672	35	105%	26	25	1	104%	1,828	1,789	39	102%
女	915	909	6	101%	696	644	52	108%	24	20	4	120%	1,635	1,573	62	104%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	50	45	5	111%	3,463	3,362	101	103%

2. 年代別Uターン・Iターン者数

(1) 令和4年度

(単位:人)

	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
70歳以上	60	83	143	39	60	99	5	1	6	104	144	248
60～69歳	144	88	232	35	36	71	0	0	0	179	124	303
50～59歳	122	92	214	82	62	144	2	1	3	206	155	361
40～49歳	127	94	221	83	71	154	3	4	7	213	169	382
30～39歳	194	168	362	136	147	283	5	5	10	335	320	655
20～29歳	292	235	527	223	218	441	4	4	8	519	457	976
10～19歳	48	37	85	47	33	80	3	4	7	98	74	172
10歳未満	108	118	226	62	69	131	4	5	9	174	192	366
計	1,095	915	2,010	707	696	1,403	26	24	50	1,828	1,635	3,463

(2) 令和3年度

(単位:人)

	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
70歳以上	63	67	130	36	51	87	1	1	2	100	119	219
60～69歳	136	96	232	46	39	85	2	1	3	184	136	320
50～59歳	106	78	184	65	43	108	3	3	6	174	124	298
40～49歳	129	95	224	88	85	173	2	1	3	219	181	400
30～39歳	208	159	367	162	126	288	5	4	9	375	289	664
20～29歳	296	267	563	177	201	378	6	7	13	479	475	954
10～19歳	48	33	81	49	39	88	3	1	4	100	73	173
10歳未満	106	114	220	49	60	109	3	2	5	158	176	334
計	1,092	909	2,001	672	644	1,316	25	20	45	1,789	1,573	3,362

(3) 対前年

(単位:人)

	Uターン者				Iターン者				不明者			計			
	男	女	小計	小計の 対前年比	男	女	小計	小計の 対前年比	男	女	小計	男	女	計	対前年比
70歳以上	▲ 3	16	13	110%	3	9	12	114%	4	0	4	4	25	29	113%
60～69歳	8	▲ 8	0	100%	▲ 11	▲ 3	▲ 14	84%	▲ 2	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲ 12	▲ 17	95%
50～59歳	16	14	30	116%	17	19	36	133%	▲ 1	▲ 2	▲ 3	32	31	63	121%
40～49歳	▲ 2	▲ 1	▲ 3	99%	▲ 5	▲ 14	▲ 19	89%	1	3	4	▲ 6	▲ 12	▲ 18	96%
30～39歳	▲ 14	9	▲ 5	99%	▲ 26	21	▲ 5	98%	0	1	1	▲ 40	31	▲ 9	99%
20～29歳	▲ 4	▲ 32	▲ 36	94%	46	17	63	117%	▲ 2	▲ 3	▲ 5	40	▲ 18	22	102%
10～19歳	0	4	4	105%	▲ 2	▲ 6	▲ 8	91%	0	3	3	▲ 2	1	▲ 1	99%
10歳未満	2	4	6	103%	13	9	22	120%	1	3	4	16	16	32	110%
計	3	6	9	100%	35	52	87	107%	1	4	5	39	62	101	103%

3. 地域別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

	Uターン者				Iターン者				不明者			計			
	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	R4	R3	対前年	対前年比
北海道	13	12	1	108%	18	10	8	180%	0	0	0	31	22	9	141%
東北	21	19	2	111%	18	23	▲ 5	78%	2	0	2	41	42	▲ 1	98%
北関東	22	16	6	138%	17	27	▲ 10	63%	0	0	0	39	43	▲ 4	91%
南関東	367	408	▲ 41	90%	222	218	4	102%	6	2	4	595	628	▲ 33	95%
北陸・東山	29	43	▲ 14	67%	35	52	▲ 17	67%	1	0	1	65	95	▲ 30	68%
東海	90	90	0	100%	66	80	▲ 14	83%	0	1	▲ 1	156	171	▲ 15	91%
東近畿	26	37	▲ 11	70%	26	38	▲ 12	68%	6	1	5	58	76	▲ 18	76%
西近畿	376	386	▲ 10	97%	237	219	18	108%	5	10	▲ 5	618	615	3	100%
中国	841	774	67	109%	499	477	22	105%	18	26	▲ 8	1,358	1,277	81	106%
四国	43	54	▲ 11	80%	46	39	7	118%	0	1	▲ 1	89	94	▲ 5	95%
九州・沖縄	107	91	16	118%	102	97	5	105%	4	1	3	213	189	24	113%
国外	75	71	4	106%	117	36	81	325%	8	3	5	200	110	90	182%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	50	45	5	3,463	3,362	101	103%

※地域区分

北海道:北海道

東北:青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東:茨城県、栃木県、群馬県

南関東:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸・東山:新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海:岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

東近畿:滋賀県、奈良県、和歌山県

西近畿:京都府、大阪府、兵庫県

中国:鳥取県、(※島根県は除く)、岡山県、広島県、山口県

四国:徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

4. 転入理由別Uターン・Iターン者数

(1) 令和4年度

(単位:人)

理由別	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
転勤	222	111	333	93	58	151	12	11	23	327	180	507
就職	149	114	263	169	109	278	5	2	7	323	225	548
転職・転業	183	126	309	139	84	223	1	1	2	323	211	534
就学・卒業等	34	34	68	45	34	79	1	0	1	80	68	148
結婚・離婚等	59	88	147	69	154	223	0	2	2	128	244	372
住宅	73	75	148	51	61	112	0	1	1	124	137	261
退職・家族の事情	307	307	614	104	128	232	6	5	11	417	440	857
その他	68	60	128	36	68	104	1	2	3	105	130	235
不詳	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
計	1,095	915	2,010	707	696	1,403	26	24	50	1,828	1,635	3,463

(2) 令和3年度

(単位:人)

理由別	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
転勤	239	133	372	93	69	162	6	2	8	338	204	542
就職	140	110	250	185	111	296	6	5	11	331	226	557
転職・転業	178	119	297	130	67	197	5	2	7	313	188	501
就学・卒業等	36	31	67	37	34	71	0	0	0	73	65	138
結婚・離婚等	55	94	149	69	170	239	1	3	4	125	267	392
住宅	53	41	94	47	48	95	0	0	0	100	89	189
退職・家族の事情	333	303	636	68	94	162	7	6	13	408	403	811
その他	56	77	133	43	51	94	0	2	2	99	130	229
不詳	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3
計	1,092	909	2,001	672	644	1,316	25	20	45	1,789	1,573	3,362

(3)対前年

(単位:人)

理由別	Uターン者				Iターン者				不明者			計			
	男	女	小計	小計の 対前年比	男	女	小計	小計の 対前年比	男	女	小計	男	女	計	対前年比
転勤	▲ 17	▲ 22	▲ 39	90%	0	▲ 11	▲ 11	93%	6	9	15	▲ 11	▲ 24	▲ 35	94%
就職	9	4	13	105%	▲ 16	▲ 2	▲ 18	94%	▲ 1	▲ 3	▲ 4	▲ 8	▲ 1	▲ 9	98%
転職・転業	5	7	12	104%	9	17	26	113%	▲ 4	▲ 1	▲ 5	10	23	33	107%
就学・卒業等	▲ 2	3	1	101%	8	0	8	111%	1	0	1	7	3	10	107%
結婚・離婚等	4	▲ 6	▲ 2	99%	0	▲ 16	▲ 16	93%	▲ 1	▲ 1	▲ 2	3	▲ 23	▲ 20	95%
住宅	20	34	54	157%	4	13	17	118%	0	1	1	24	48	72	138%
退職・家族の事情	▲ 26	4	▲ 22	97%	36	34	70	143%	▲ 1	▲ 1	▲ 2	9	37	46	106%
その他	12	▲ 17	▲ 5	96%	▲ 7	17	10	111%	1	0	1	6	0	6	103%
不詳	▲ 2	▲ 1	▲ 3	皆減	1	0	1	皆増	0	0	0	▲ 1	▲ 1	▲ 2	33%
計	3	6	9	100%	35	52	87	107%	1	4	5	39	62	101	103%

5. 市町村別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

	Uターン者				Iターン者				不明者			計			
	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	R4	R3	対前年	対前年比
松江市	715	698	17	102%	472	373	99	127%	0	1	▲ 1	1,187	1,072	115	111%
浜田市	135	109	26	124%	52	74	▲ 22	70%	5	0	5	192	183	9	105%
出雲市	542	529	13	102%	413	466	▲ 53	89%	27	30	▲ 3	982	1,025	▲ 43	96%
益田市	116	107	9	108%	92	54	38	170%	9	4	5	217	165	52	132%
大田市	59	68	▲ 9	87%	62	51	11	122%	0	0	0	121	119	2	102%
安来市	96	116	▲ 20	83%	59	54	5	109%	1	2	▲ 1	156	172	▲ 16	91%
江津市	65	65	0	100%	46	22	24	209%	4	0	4	115	87	28	132%
雲南市	72	80	▲ 8	90%	26	50	▲ 24	52%	0	5	▲ 5	98	135	▲ 37	73%
奥出雲町	29	30	▲ 1	97%	11	10	1	110%	0	1	▲ 1	40	41	▲ 1	98%
飯南町	10	12	▲ 2	83%	20	9	11	222%	0	0	0	30	21	9	143%
川本町	1	8	▲ 7	13%	3	7	▲ 4	43%	1	0	1	5	15	▲ 10	33%
美郷町	13	11	2	118%	8	9	▲ 1	89%	0	0	0	21	20	1	105%
邑南町	47	47	0	100%	25	18	7	139%	2	0	2	74	65	9	114%
津和野町	27	34	▲ 7	79%	20	18	2	111%	0	1	▲ 1	47	53	▲ 6	89%
吉賀町	10	17	▲ 7	59%	11	27	▲ 16	41%	0	1	▲ 1	21	45	▲ 24	47%
海士町	14	7	7	200%	15	24	▲ 9	63%	0	0	0	29	31	▲ 2	94%
西ノ島町	10	6	4	167%	23	6	17	383%	0	0	0	33	12	21	275%
知夫村	2	2	0	100%	0	0	0	0%	0	0	0	2	2	0	100%
隠岐の島町	47	55	▲ 8	85%	45	44	1	102%	1	0	1	93	99	▲ 6	94%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	50	45	5	3,463	3,362	101	103%

※参考(地域別)

(単位:人)

	Uターン者				Iターン者				不明者			計			
	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	対前年比	R4	R3	対前年	R4	R3	対前年	対前年比
東部	1,464	1,465	▲ 1	100%	1,001	962	39	104%	28	39	▲ 11	2,493	2,466	27	101%
西部	473	466	7	102%	319	280	39	114%	21	6	15	813	752	61	108%
隠岐	73	70	3	104%	83	74	9	112%	1	0	1	157	144	13	109%
計	2,010	2,001	9	100%	1,403	1,316	87	107%	50	45	5	3,463	3,362	101	103%

6. 外国人Uターン・Iターン者数

※令和元年5月から日本人と外国人の分類が可能となった

(1) 年代別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
70歳以上	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	1	2
60～69歳	3	2	5	0	1	1	0	0	0	3	3	6
50～59歳	1	6	7	3	2	5	0	0	0	4	8	12
40～49歳	3	8	11	5	7	12	0	0	0	8	15	23
30～39歳	8	11	19	17	24	41	2	0	2	27	35	62
20～29歳	9	6	15	45	53	98	1	2	3	55	61	116
10～19歳	1	2	3	4	6	10	0	1	1	5	9	14
10歳未満	2	2	4	4	10	14	0	1	1	6	13	19
計	27	37	64	79	104	183	3	4	7	109	145	254

(2) 地域別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
北関東	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2
南関東	2	1	3	9	4	13	0	0	0	11	5	16
北陸・東山	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
東海	4	4	8	9	2	11	0	0	0	13	6	19
東近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西近畿	1	0	1	3	13	16	0	0	0	4	13	17
中国	2	6	8	6	11	17	1	0	1	9	17	26
四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州・沖縄	1	1	2	4	8	12	0	0	0	5	9	14
国外	15	23	38	48	65	113	2	4	6	65	92	157
計	27	37	64	79	104	183	3	4	7	109	145	254

※地域区分は、「3. 地域別Uターン者数」に同じ

(3) 転入理由別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

理由別	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
転勤	4	3	7	6	5	11	0	0	0	10	8	18
就職	17	9	26	45	41	86	1	1	2	63	51	114
転職・転業	1	0	1	11	6	17	1	0	1	13	6	19
就学・卒業等	1	3	4	8	9	17	1	0	1	10	12	22
結婚・離婚等	1	3	4	3	14	17	0	2	2	4	19	23
住宅	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
退職・家族の事情	3	16	19	5	13	18	0	1	1	8	30	38
その他	0	3	3	1	15	16	0	0	0	1	18	19
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	27	37	64	79	104	183	3	4	7	109	145	254

(4)市町村別Uターン・Iターン者数

(単位:人)

	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
松江市	5	9	14	38	36	74	0	0	0	43	45	88
浜田市	1	1	2	0	1	1	0	0	0	1	2	3
出雲市	13	16	29	31	41	72	1	3	4	45	60	105
益田市	1	1	2	1	9	10	0	0	0	2	10	12
大田市	1	1	2	0	3	3	0	0	0	1	4	5
安来市	0	1	1	3	3	6	0	0	0	3	4	7
江津市	3	6	9	1	3	4	2	1	3	6	10	16
雲南市	0	0	0	1	2	3	0	0	0	1	2	3
奥出雲町	1	1	2	2	1	3	0	0	0	3	2	5
飯南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美郷町	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
邑南町	0	0	0	2	3	5	0	0	0	2	3	5
津和野町	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
吉賀町	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
海士町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西ノ島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知夫村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
隠岐の島町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	27	37	64	79	104	183	3	4	7	109	145	254

※参考(地域別)

(単位:人)

	Uターン者			Iターン者			不明者			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
東部	19	27	46	75	83	158	1	3	4	95	113	208
西部	7	10	17	4	21	25	2	1	3	13	32	45
隠岐	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	27	37	64	79	104	183	3	4	7	109	145	254

令和5年度の主なUターン・Iターン施策について

1. 移住イベント・相談会

(1) 県外での移住イベント

① しまね移住フェア（主催：定住財団）

ふるさと島根定住財団、市町村、関係機関による相談ブースや、先輩移住者によるセミナー、市町村ごとのプレゼンテーション等を行う対面イベント

年度	開催地・開催日	会場	来場数
令和5年度	大阪(7/15)	グランフロント大阪	目標 200人
	東京(11/19)	東京国際フォーラム	目標 300人
令和4年度	大阪(9/17)	グランフロント大阪	92組 125人
	東京(10/29)	東京国際フォーラム	142組 202人



昨年度の様子（東京）

② しまね暮らしマルシェ（主催：定住財団）【新規】

移住相談にハードルを感じる層に対して、より気軽に接点を持ってもらえるよう、島根へ移住した方々が生産する商品の購入などを通じ「しまねの暮らし」に触れることができるイベント

年度	開催地・開催日	会場	来場数
令和5年度	東京(10/15)	二子玉川ライズ	目標 1,000人

③ マイナビ転職フェア（主催：株式会社マイナビ）【新規】

関西、山陽方面で就業する20～30代で転職を希望している層をターゲットに「しまねの暮らし」の魅力を伝えるため、「島根県移住相談コーナー」として出展

年度	開催地・開催日	会場	ブース来場数
令和5年度	大阪(6/10)	グランフロント大阪	80人
	広島(10/7)	広島コンベンションホール	—

※ この他、3回の出展を予定

(2) オンラインによる移住セミナー・イベント

① しまね移住体感オンラインツアー（主催：定住財団）

地方への移住を検討している県外在住者を対象に、移住先輩者による休日の過ごし方、生活費等のテーマに沿ったオンラインイベントを以下のとおり実施

年 度	開催日	テーマ	参加者数
令和5年度	6/4	仕事	123人
	8～9月頃	移住にまつわるお金の話	目標 100人
	2～3月頃	移住のネック	目標 100人
令和4年度	6/11	島根の休日	100人
	7/24	移住にまつわるお金の話	90人
	11/19	住まい	87人
	1/22	移住のネック	114人

2. 各種キャンペーン等

① Uターン促進友達キャンペーン

県内に住む若者を「Uターン呼びかけ人」として募集し、県外に住む友達に島根の特産品と併せてUターンを呼びかけるメッセージを送付する取組

集まった「Uターン呼びかけ人」は、定住財団が実施する事業の情報発信への協力を依頼

令和4年度実績 100人、令和5年度目標 200人



昨年度のチラシ

② 「しまね登録」新規登録キャンペーン

LINEを活用したUターン・Iターン希望者への登録促進のため、デジタルギフトを提供するキャンペーンを実施予定
履歴書や求職希望等の詳細情報の入力を要件とする。

令和4年度実績 386人、令和5年度目標 400人



昨年度のチラシ

③ Uターン転職大作戦

20～30代のUターン希望者と経験者採用に積極的な県内企業とのオンラインによる就職マッチングイベント。

期間限定、対象者限定の非公開サイトとすることで、モデル年収等の非公開情報も含めた求人情報を提供

令和4年度実績 参加企業数 96社、求職者 34人、採用決定 6人

令和5年度目標 参加企業数 100社、求職者 50人、採用決定 25人



昨年度のチラシ

【R5 / イベント等スケジュール (予定)】

オンライン

対面式

キャンペーン等

※【 】内は人数規模

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報発信	しまねUターン情報誌Beans作成									各種PRパンフ		
移住イベント	対面式											
			●③マイナビ転職フェア (大阪/6月10日)	総合イベント ①しまね移住フェア /7月15日 @コングレコンベンションセンター 【200人】		NEW 新規開拓イベント ②しまねマルシェ東京 /10月15日 @二子玉川ライズ 【1,000人】		総合イベント ①しまね移住フェア /11月19日 @東京国際フォーラム 【300人】			●③マイナビ転職フェア (未定/1月頃)	●③マイナビ転職フェア (未定/2月頃)
移住イベント	オンライン											
	移住体感 オンラインツアーⅠ /6月4日 【100人】		移住体感 オンラインツアーⅡ /8~9月頃 【100人】		オンライン 総合イベント (移住ワンダーランド) /12月頃 【1,000人】	移住体感 オンラインツアーⅢ/ 2~3月頃 【100人】						
キャンペーン等					①Uターン促進 友達キャンペーン /8月頃~ 【200人】		②「しまね登録」新規 登録キャンペーン /9月~10月 【400人】				③Uターン転職大作戦 /2月頃 【求職者25人】	

令和5年度移住者意識調査について

1. 調査の目的

平成28年度に都市部のUIターン希望者や既に島根に移住してきた方等を対象に移住に係る意識調査を実施した。調査により「現在の地域に暮らし続けたい」という意向を持つ者が移住者の半数程度しかいないことが分かったため、市町村と協調して移住者の定着支援を強化した。

前回調査から7年が経過したが、この間地方創生の取組の進展により地方自治体間の移住者獲得競争が激しくなったほか、コロナ禍を経て地方移住への関心の変化や転職なき移住といった新しい移住スタイルも現れている。

そこで、現在の定住施策の点検とコロナ禍を経た移住検討層・実践層の意識やニーズを把握し、今後の施策の方向性を検討するため、都市部の移住希望者や既に島根に移住してきた方等を対象に移住に係る意識調査を行う。

2. 調査の概要

- ・ アンケートは全てWEB上で回答、集計（Microsoft Formsを活用）
- ・ ふるさと島根定住財団の求人登録企業に就業する転職者、くらしまねっと求職登録者、ホームページ閲覧者等を対象に調査への協力を依頼
- ・ 回答率向上のため「デジタルギフト」等の謝礼を提供

(1) 島根県に移住した人【移住実践層】への調査

調査時期	令和5年6月15日～10月下旬
対象者	H30～R4年度に定住財団登録企業へ就職した者等（新卒者は除く）
対象数	約1,500名
目標回答者数	500名
調査手法	対象企業約2,400社へのダイレクトメールを通じ、社内での周知を依頼
主な設問	移住を決意した最大の要因、今後も現在居住する地域に住み続けたいか

(2) 島根県への移住を検討している人【移住検討層】への調査

調査時期	令和5年6月中旬～10月下旬
対象者	定住財団くらしまねっと求職登録者等
対象数	約2,400名
目標回答者数	500名
調査手法	対象者へのダイレクトメール
主な設問	島根への移住予定時期など移住検討の熟度、移住を検討するうえでの最大の障壁

(3) 島根県への移住に興味・関心のある人【移住関心層】への調査

調査時期	令和5年6月中旬～10月下旬
対象者	①定住財団くらしまねっと登録者（求職登録者を除く） ②定住財団ホームページ閲覧者
対象数	①約5,000名+②ホームページ閲覧者数
目標回答者数	600名
調査手法	①対象者へのダイレクトメール、②特設バナーより誘導
主な設問	島根への移住に関心を持ったきっかけ、島根への移住を考える際に利用しているサービスの評価

(4) 島根県出身者で島根県へのUターン意向の低い人【移住低関心層】への調査

調査時期	令和5年9月下旬～10月下旬
対象者	県内在住の友人からUターンの呼びかけを受けた人 (本人のUターン意思が薄い又は当面Uターンする意思のない人)
対象数	約200名
目標回答者数	200名
調査手法	定住財団事業（サブプロジェクト）の参加者へ周知
主な設問	島根へのUターンを考えていない理由

※ 上記(1)～(4)の回答者のうち30名程度に個別のインタビューを予定

3. スケジュール

調査期間	6月15日～10月下旬
個別インタビュー	10月上旬～11月下旬
集計・分析	11月上旬～11月下旬
報告書検討・作成	12月上旬～1月上旬
議会報告	2月議会
公表	3月中旬